

NEWS RELEASE

絵画・書跡・工芸の名品が集う

「茶の湯の美術」展を開催します

近鉄グループの文化事業である大和文華館では、4月12日（金）から5月19日（日）まで、「茶の湯の美術」展を開催いたします。

茶を飲む風習は、奈良・平安時代頃に中国から日本に伝えられ、鎌倉時代には禅宗とともに抹茶の喫茶法がもたらされました。喫茶は禅寺における生活規範として位置づけられ、社交の道具として武家の間にも広まり、室町時代には、権力者たちが唐物を飾り立てた豪華な空間で喫茶を楽しみました。

その一方で、室町時代後期頃より、禅を礎にして精神性を重んじた侘び茶が生まれ、深められていきました。桃山から江戸時代にかけては、時代を先導する多彩な茶人たちが輩出しました。茶人たちは、自らの茶風に合う道具を選び取り、新しい道具の創出にも関わりました。こうして喫茶の風習は、多様な分野の美意識を結集した独自の文化、茶の湯となったのです。近代には、多くの財界人たちが茶の湯に親しみ、著名な茶道具を蒐集するとともに、茶席に新たな種類の美術品を飾りました。

館蔵の絵画・書跡・工芸を通して、美術品の鑑賞、創造と深く結びついた茶の湯の世界へと誘います。詳細は別紙のとおりです。



「色絵おしどり香合」野々村仁清作
(大和文華館蔵)



国宝「雪中帰牧図」李迪筆
(大和文華館蔵)

別紙

<1> 展覧会について

1. 名称 「茶の湯の美術」
2. 会期 2019年4月12日（金）～5月19日（日）
3. 開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時まで）
4. 入館料 一般 620円 高校・大学生410円 小学・中学生 無料
5. 主催 大和文華館
6. 出陳品数 79件

（一例） ●＝国宝 ◎＝重要文化財

【喫茶の歴史】

- ・造東大寺勸進栄西書状 日本・鎌倉時代

【唐物の茶】

- ◎秋塘図 伝趙令穰筆 中国・北宋時代
- 雪中帰牧図 李迪筆 中国・南宋時代
- ◎蜀葵遊猫図・萱草遊狗図 伝毛益筆 中国・南宋時代
- ・青磁鯨耳瓶 中国・南宋時代
- ・油滴天目碗 中国・南宋時代

【侘び茶の誕生】

- ・武野紹鷗書状 日本・室町時代
- ◎墨蹟法語 虎関師錬筆 日本・南北朝時代
- ・小倉色「天の原」 日本・鎌倉時代
- ・斗々屋手茶碗 朝鮮・朝鮮王朝時代

【侘び茶の展開】

- ・千少庵書状 日本・桃山時代
- ・古田織部書状 日本・桃山時代
- ・赤織部瓜文角皿 日本・桃山時代
- ・黒楽茶碗 日本・桃山-江戸時代
- ・小堀遠州書状 日本・江戸時代
- ・金森宗和書状 日本・江戸時代
- ・色絵おしどり香合 野々村仁清作 日本・江戸時代
- ・一閑蒔絵枝垂桜文棗 日本・江戸時代

【近代数寄者の茶】

- ◎小大君像（佐竹本三十六歌仙絵断簡） 日本・鎌倉時代 など

<2> 展覧会会期中のイベントについて

1. 特別講演「日本の喫茶文化とわび数寄」

- (1) 日時・場所 5月12日(日) 14:00から講堂にて
- (2) 講師 茶道資料館副館長・今日庵文庫長 伊住禮次朗氏

2. 日曜美術講座「茶の湯と原三溪と大和文華館」

- (1) 日時・場所 4月28日(日) 14:00から講堂にて
- (2) 講師 大和文華館 学芸係長 宮崎もも

3. 列品解説

- (1) 日時・場所 毎週土曜日 14:00から展示場にて
- (2) 解説 大和文華館 学芸部

何れのイベントも参加は無料ですが、入館料が必要です。

以 上